

基礎知識 編

予算についてのいろいろな「おしえて!」についてお答えします。

予算とは？

おしえて!



予算ってなんだろう？ おしえて!



予算とは、1年度間(4月から翌年の3月まで)の収入(入ってくるお金)と支出(使うお金)を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。

市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？

おしえて!



どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて!

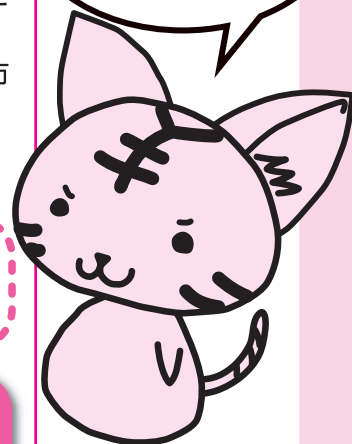


市長が予算案をつくり、そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

基本は大切ですニャ!



予算の変更は？

おしえて!



一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて!



変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

予算のその後は？



予算を使ったあとは？ おしえて！



その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果(入ってきたお金と使ったお金)が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

にせんおく...
すごい金額
ですニャ



予算の規模は？



那覇市の予算の規模は？ おしえて！



「一般会計予算」では、1,280億8,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,098億7,042万円になります。

「一般会計予算」では、1,280億8,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,098億7,042万円になります。

一般会計予算
1,280億8,800万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税(市民税や固定資産税など)や国・県支出金などです。



特別会計予算
686億7,997万円

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計予算があります。

- ・土地区画整理事業特別会計(5億7,132万円)
- ・国民健康保険事業特別会計(433億7,059万円)
- ・市街地再開発事業特別会計(3億4,969万円)
- ・介護保険事業特別会計(212億2,211万円)
- ・後期高齢者医療特別会計(28億1,588万円)
- ・病院事業債管理特別会計(2億6,989万円)
- ・母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計(8,049万円)



公営企業会計予算
131億246万円

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算(76億3,998万円)
- ・下水道事業会計予算(54億6,348万円)

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。

≡ 2,098億7,042万円

予算の必要なわけは？

おしえて！



予算はなんのために必要なんですか？ おしえて！



行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。今後、1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会の議決を得ることによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールをすることができます。そのためにも予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長はその責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の執行と歳出における予算の執行とは、その性質や効力の面で異なります。歳入予算は単なる収入の見込みにすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、また、予算額よりも少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は成立した予算の目的に従って、予算の範囲内において執行する必要があります。つまり、予算額を超えて支出することはできません。

このように予算を決めることによって、予算執行権のある市長の権限を民主的にコントロールすることが可能となります。

予算の必要なわけは？

おしえて！



市民一人当たりの経費と市税の使いみちは？

市民一人当たりだと下記のような使いみちになります。
(一般会計)

市民一人当たり行政経費及び市税負担額(一般会計)

●人口(平成25年3月31日現在) 318,708人 ●平成25年度市税総額 40,670,763,000円
●市民1人当たり行政経費 401,898円 ●市民1人当たり市税負担額 127,611円

区 分	金額(円)
議 会 費 (議会運営のための経費)	2,577
総 務 費 (市役所の運営、広報などのための経費)	33,608
民 生 費 (福祉施設の運営、生活扶助、児童及び老人福祉などの経費)	185,230
衛 生 費 (市民の健康維持やごみ処理などの経費)	28,392
労 働 費 (雇用拡大や失業対策などに要する経費)	1,611
農林水産業費 (農林漁業の振興、技術の普及を図るための経費)	518
商 工 費 (商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費)	5,209
土 木 費 (道路、橋、河川、公園などの基盤整備のための経費)	55,541
消 防 費 (市民の生命、財産を守り、災害を防ぐための消防活動経費)	8,839
教 育 費 (学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費)	35,983
公 債 費 (事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金)	44,169
そ の 他	220

基礎編は
これで修了。
次は収入編です。

